

令和 2 年度

一般会計・特別会計予算概要

令 和 2 年 2 月

函南町長 仁科 喜世志

一般会計予算

令和2年度 函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 11,218,000千円で、前年度比 24,000千円、0.2%の減額となりました。

第6次函南町総合計画の将来都市像「環境・健康・交流都市函南」の実現に向け、すべての町民が快適で住み続けたいとなるまちづくりのために、限られた財源の中で、各分野において行政効果が最大限に発揮できるよう、「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の6つの基本政策のもとに、計画性と合理性を持った施策の展開を図ります。

主な施策としましては、次のとおりです。

施策の柱：環境【 環境・防災 】

基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 14億 5,331万 5千円

令和元年台風第19号は、函南町にも大きな被害を与え、今もなお災害復旧に取り組んでいます。令和2年度においても災害復旧を継続するとともに、更なる災害に強いまちづくりの推進を図ります。

また、地球環境の保全のため、住宅用太陽光発電システム設置への助成をするとともに、ごみの削減、リサイクルの推進に取り組めます。

さらに、消防体制の充実を図ることで、町民の生命と財産を守り、安全で安心、快適なまちづくりを推進します。

・ 台風第19号で被害を受けた町道の復旧整備

従前の道路機能回復を図るため、引き続き町道の復旧整備を行います。

予算額 56,000千円

・ 災害救助法応急修理への助成

台風第19号の被災者に対し、少しでも早く元の生活に戻れるよう、居住家屋の応急修理に必要な費用の一部を助成します。

予算額 13,000千円

・ 再生可能エネルギーの普及および機器への助成

再生可能エネルギーの利用推進と家庭から発生するCO₂の排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システム機器の設置に助成します。

予算額 1,080千円

・ ごみの減量活動の支援促進

地球温暖化を防止し、限りある資源の有効利用を図るため、拠点回収をしていた乾電池、蛍光灯をごみステーションでの回収に切り替え、町民の利便性と、リサイクルの向上を図ります。

予算額 72,405千円

・ 水害への対策

水害時に備えるため、老朽化した蛇ヶ橋ポンプ場及び落合排水機場の施設更新工事を行います。

予算額 35,310千円

- ・消防団本部指令車の更新

火災・風水害などにおける消防団の指令体制の強化を図るため、老朽化した車両を更新します。

予算額 6,237千円

- ・テレビ会議システムの導入

台風などの事前にわかる気象情報の共有や災害発生時の双方向の情報伝達手段の多重化を図るため、静岡県と県下市町を結ぶテレビ会議システムを導入します。

予算額 1,510千円

- ・指定避難所設備の整備

災害による停電や断水時に安全な飲料水の確保を図るため、5箇所の指定避難所の受水槽に緊急用蛇口を設置します。

予算額 1,473千円

- ・災害対策用資機材の整備

同時通報無線設備の技術基準の改正に加え、緊急時の情報伝達力の強化を図るため、9箇年計画により、現行のアナログ方式からデジタル方式に設備を更新します。

予算額 66,273千円

- ・ハザードマップの更新

静岡県による土砂災害特別警戒区域等の新たな指定が予定され、町民への危険度や避難場所などの周知による人的被害の抑制を図るため、ハザードマップを更新します。

予算額 8,668千円

- ・防災倉庫の更新

避難所の開設、運営に必要な資器材を安全に管理し、円滑な避難所運営に備えるため、老朽化した函南小学校の防災倉庫を更新します。

予算額 4,179千円

- ・消防救急体制の強化

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合へ負担金を支出します。

予算額 474,820千円

- ・国土強靱化地域計画の策定

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法に基づき、国土強靱化地域計画を策定します。

予算額 6,227千円

施策の柱：環境【社会基盤】

基本目標 ◎ コンパクトで効率的な都市づくり 9億 6,862万 7千円

町民の生活のための交通を確保し、中山間地域と市街地との連携に努めるとともに、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等の取り組みを行います。

また、将来にわたり利用できるような効果的・効率的な都市基盤の整備・維持を図ります。

さらに、自然環境と調和した景観形成や、駅や拠点施設・幹線道路沿いにおける高質な土地利用の実現に取り組みます。

・地域公共交通運行計画策定事業

函南町の新たな公共交通ネットワーク導入に向けて、公共交通空白地域と市街地内を連携する公共交通の実証運行に係る運行計画を作成します。 予算額 8,000千円

・柏谷公園再整備事業

子育て世代の利便性の向上と利用者の拡大を図るため、柏谷公園西側トイレ内に、幼児用ベッド、チェアを設置し、親子が安心して遊べる居場所づくりを推進します。 予算額 5,940千円

・合併浄化槽設置の普及促進事業

快適な生活環境の実現と公共水域の保全のため、公共下水道区域外の生活排水処理について合併浄化槽への切替えを促進します。 予算額 3,341千円

・交通基盤の整備

通勤・通学路の安全確保や車両の円滑な通行を確保するため、主要道路及び狭あい道路の拡幅や舗装の打替え等町道の整備を行います。 予算額 126,740千円

・公共下水道事業の推進

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計へ繰出しを行います。 予算額 366,463千円

・地震対策事業（TOUKAI-0）の促進

巨大地震の発生が想定される中、効果的かつ効率的に建築物の耐震化等を求められていることから、町民に対し建築物の耐震診断及び耐震改修の必要性、重要性について普及活動に積極的に取り組むとともに、国や県の補強制度を活用し、建築物の耐震改修の促進を図ります。 予算額 13,148千円

施策の柱：健康【健康・福祉】

基本目標 ◎ 誰もが活き活きと暮らせる健康づくり 45億 1,508万 2千円

安心して子どもを産み育てられるよう、切れ目がなく、きめの細かい母子への支援を充実します。

また、心身共に健やかで幸福な生活を送ることができるよう、生涯を通じた健康づくりを推進します。

さらに、障害のある人が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らせるよう、地域全体で支える仕組みづくりに取り組みます。

・産前産後サポート事業の拡充

産前産後の不安や育児負担を解消するため、専門家による育児・家事支援訪問や昼食の配達を行います。また、湯〜トピアかなみを会場に、温泉によるリフレッシュ効果や、地域の母親同士の仲間作りを促し、家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう、相談支援や産後の体操、参加者同士の交流をサポートします。

予算額 1,056千円

・不妊・不育治療への助成

不妊・不育治療費の助成額を見直し、子どもを望む夫婦の経済的負担の更なる軽減を図ります。

予算額 5,500千円

・生活習慣予防事業の推進

生活習慣病の予防やがんの早期発見により健康寿命の延伸を図るため、健康マイレージとロコモ体操の普及事業を推進するとともに、一般検診やがん検診の普及・啓発を行い、受診率の向上、運動習慣の動機づけ・健康意識の改革に努めます。また、若年のがん患者が充実した生活が送れるよう、妊孕性温存治療や在宅療養等にかかる費用の一部を助成します。

予算額 44,468千円

・国民健康保険制度の円滑な運営

医療技術の進歩により、被保険者の医療制度に対する依存度が高くなる中、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。

予算額 283,535千円

・湯〜トピアかなみの町民割引制度の拡充

町民への利用促進と還元を図るため、湯〜トピアかなみの町民割引券の発行を年2回から3回に増やします。

予算額 10,890千円

・湯〜トピアかなみの指定管理者による安定した運営

消費税の増額や上下水道料金の値上げ後においても、湯〜トピアかなみの入館料は据え置いて運営しているため、運営している指定管理者に対し補てんを行います。また、設備点検や維持管理を委託し、安定した施設運営を行います。

予算額 14,000千円

- ・後期高齢者医療制度の円滑な運営

高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。

予算額 455,941千円

- ・介護保険事業の円滑な運営

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。

予算額 450,633千円

- ・成年後見体制整備事業

今後増加が確実となる認知症高齢者への対応に備えるため、権利擁護支援の体制整備と地域連携のネットワークづくりを目的とした中核機関の設置準備を行います。成年後見推進事業にて育成された成年後見人を活用し、制度利用を必要とする認知症や障害のある人の権利を守り、安心して暮らし続けられる体制を図ります。

予算額 478千円

- ・救急医療体制の整備促進

夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、田方救急医療協議会、沼津夜間救急医療対策協会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保・充実を図ります。

予算額 12,241千円

- ・障害者(児)相談支援の充実

障害を持つ人の生活を地域全体で支える体制を構築するため、必要なサービスの相談などを支援する地域生活支援拠点コーディネーターを配置するための準備として、基幹相談支援センターの体制を整備します。

予算額 2,639千円

施策の柱：健康【教育】

基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 14億 6,259万 7千円

日常のあらゆる場所でICTが活用されている社会に対応するため、ICTを活用した教育活動を推進します。

また、幼児教育・保育の充実を推進するため、幼児教育センターを設置し、質の高い幼児教育の提供、幼保小中の連携に取り組みます。

さらに、郷土のことはもとより、歴史や文化、伝統等について理解を深めることができ、地域への誇りと愛着を育成するとともに、児童・生徒の個性や能力を最大限に伸ばすことができる取り組みを推進します。

- ・幼児教育センターの設置

函南町教育大綱の重点施策推進プランに掲げる「幼児教育・保育の充実」を推進するため、幼児教育センターを設置します。

予算額 2,486千円

- ・教育環境の整備

児童の快適な環境を整備するため、西小学校のトイレの洋式化工事を行います。また、不審者への防犯対策として、各小学校へ防犯カメラを設置します。

予算額 20,690千円

・外国語教育の拡充

外国語教育の推進を図るため、小学校の外国人語学指導助手（A L T）の人数を2人から4人に増員します。

予算額 19,800千円

・I C Tを活用した教育の推進

I C Tを活用した教育を推進します。

新学習指導要領実施に伴うデジタル教科書の購入（小学校） 予算額 6,798千円

教員向けタブレットリース（小学校） 予算額 994千円

教員向けタブレットリース（中学校） 予算額 248千円

大型モニターリース（中学校） 予算額 912千円

インターネット環境の改善整備（小学校） 予算額 1,558千円

インターネット環境の改善整備（中学校） 予算額 3,760千円

・預かり保育の拡充

保育園での対応が困難な待機児童解消対策として、春光幼稚園、みのり幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、丹那幼稚園で実施している預かり保育を二葉幼稚園に拡充することにより、共働き世帯やひとり親世帯に対し、更なる子育て支援の充実を図ります。

予算額 1,227千円

・こども医療費等助成事業

子どもを持つ家庭の経済的な負担を軽減し、子どもが適切な治療を早期に受けられるよう高校生までの入院や通院に係る医療費を無料にします。

予算額 181,443千円

・柏谷公園野球場の改修

ファウルボールによる人や住宅への被害を防ぐため、天井防球ネットの設置等を行います。

予算額 9,350千円

・図書館等複合施設の運営

図書館と子育てふれあい・地域交流センターからなる図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を学習、文化、交流の拠点として有効活用するとともに、生涯学習の場として図書館業務の充実を推進します。

予算額 70,172千円

・かなみスポーツ健康長寿フェスタの開催

スポーツのまちづくりと健康で長寿なまちづくりを目指して、町民の健康意識の向上や親子のふれあい、さらに、幅広い世代間の交流が図れるような総合的なイベントを開催し、スポーツの振興、健康づくりの推進を図ります。

予算額 971千円

・かなみ仏の里美術館の運営

郷土の歴史と文化への理解を深め、将来に渡る文化財の保護、継承、保存のための美術館として、さらなる誘客を促すとともに、観光施設の拠点として適切な維持管理を行います。

予算額 15,175千円

施策の柱：交流【産業】

基本目標 ◎ 活力とゆとりを生み出す産業づくり 4億 6,637万 2千円

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、豊かな文化資産・自然環境等を活かすとともに、道の駅を活かした観光情報の発信や、各種イベントの実施等により交流人口の増加を図り、地域経済の活性化につなげていきます。

さらに、函南ブランドやご当地グルメをより一層周知させ、新たな観光資源として観光交流客層を広げ、商工振興を図ります。

・川の駅施設の管理運営

ドッグランの利用や水辺を利用した学習の場、アウトドアスポーツの体験の場、観光客の休憩の場として、地域住民や来訪者との交流拡大を図り、地域の賑わいを創出するとともに、水防活動の拠点として適切な維持管理を行います。

予算額 11,521千円

・道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営を委託し、地域資源をPRするとともに、町内の農産物を利用した食を提供する等、各種の分野が連携をして観光振興の推進を図ります。

予算額 156,538千円

・住宅リフォーム助成事業

商工振興の活性化に加え、耐震リフォームとの併用により震災に強い住宅整備を促進します。

予算額 8,000千円

・地域活性化の推進

函南ブランド認定品などの特産物の周知により産業振興を図るため、インターネットを活用したふるさと納税の促進を図ります。

予算額 23,477千円

・地域資源の推進と活用

函南ブランドに認定された地域の特産品を、ふるさと納税の返礼品や道の駅等で販売し、全国にPRすることにより、商工振興と地域の活性化を図ります。

予算額 1,198千円

・観光の振興と活用

地域資源を活かしたまちづくりのため、専門知識を有する観光プロデューサーを雇用し、観光振興施策の充実を図ります。また、ご当地グルメの周知と、観光客の町内店舗への誘導を図るため、「函南カルボナーラ」MAPを作成します。

予算額 4,592千円

・畜産振興補助事業の拡充

厳しい酪農経営の中でより経営の効率化を図るため、各種事業に対し補助金を交付し、経営の安定化を図ります。また、ホルスタイン乳牛の改良増殖の成果を検討し、酪農経営の健全なる発展を図ることを目的に、全日本ホルスタイン共進会への出品に係る経費の一部を助成します。

予算額 4,085千円

- ・揚水機場の更新

新田揚水機場の揚水量が低下しているため、地元からの財政負担も受け、揚水ポンプの更新を行います。更新により、維持管理の低コスト化を図り、農業の持続的な発展を目指します。

予算額 18,766千円

- ・企業誘致の促進

企業誘致を促進し、地域産業の高度化や地域経済の活性化を図るため、町の施策に沿って企業立地した事業者に対して、企業立地事業費補助金及び設備投資奨励金を交付し、雇用の創出を図るとともに、固定資産税をはじめとする町税の安定的な財源の確保に努めます。

予算額 38,000千円

施策の柱：交流【 交流・にぎわい 】

基本目標 ◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 23億 5,200万 7千円

各コミュニティが地域特性を踏まえつつ、地域内の交流を推進し、主体的に地域づくりに取り組めるような仕組みの構築を図ります。

また、町の魅力を広く発信し、定住につながる資源を活用し支援を促進します。

さらに、厳しい財政状況を踏まえ、計画的かつ効率的に事業を推進するとともに、町の事務事業の必要性、妥当性、効率性を点検・評価して、健全な財政運営を行います。

- ・移住就業支援事業

地方の担い手不足解消のため、東京圏の人材を静岡県へ就業、函南町へ移住した者に補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住定住の促進を図ります。

予算額 1,000千円

- ・町民の参画と協働によるまちづくり

まちづくりブロック懇談会を開催し、町民との対話を続け、地域住民の行政参加につながるまちづくりを推進します。

予算額 28千円

- ・自治会活動の促進

核家族化によるコミュニティ活動の低下や地域の高齢化が深刻になる中、区長会を中心に自治会相互の連携を図り、各自治会の地域活動を促進します。

予算額 11,331千円

- ・地域交流、国際交流の推進

アメリカ合衆国カーマン市との姉妹都市交流事業として、カーマン市民の受入れや在住外国人との交流を促進します。

予算額 1,252千円

- ・FMみしま・かなみの活用と支援

町で行われる各種イベントは、FMコミュニティ放送や町のホームページ・SNS・広報紙等を利用してPRし、参加促進を図る等広報活動に努めます。

予算額 7,106千円

- ・コンビニ収納事務の推進

納税者の納付機会の拡大と利便性の向上のため、コンビニエンスストアにおける公金収納の他に、スマートフォンアプリを利用した収納もできるように事務の推進を図ります。

予算額 2,097千円

- ・町税収納率向上対策事業の実施

文書等による納税催告に加え、新たに滞納者電話催告業務を委託することで、納税意識の高揚と納税環境の充実を図り、町税の現年分収納率向上に努めます。

予算額 1,187千円

一般会計 歳入歳出別 概要説明

歳入

自主財源において、歳入の根幹をなす町税は、5,213,250千円で、前年度比 1.3%の減となりました。これは、主に法人町民税の法人税割の利率改正による減額と、固定資産税の課税標準額の減額によるものであります。

分担金及び負担金は、143,095千円で、前年度比 28.0%の減となりました。これは、昨年10月より実施された幼児教育・保育の無償化による利用者負担金の皆減によるものであります。

使用料及び手数料は、154,497千円で、前年度比 5.8%の増となりました。これは、道路占用料及び道の駅使用料の増額によるものであります。

繰入金は、224,463千円で、前年度比 50.0%の減となりました。これは、廃棄物処理場建設基金繰入金や町立学校建設基金繰入金、財政調整基金などの繰入金の減額によるものであります。

これらに、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入を加えた自主財源の総額は、6,278,811千円で、前年度比 251,285千円、3.8%の減額となり、歳入に占める自主財源の割合は、2.1ポイント減の 56.0%となりました。

一方、依存財源において、令和2年度より新設される法人事業税交付金は、法人町民税法人税割の減収分補てん措置として、法人事業税額の7.7%が、法人事業税割の按分により市町に交付されるものであり、前年度比皆増の 70,000千円を見込みました。

地方消費税交付金は、昨年10月より施行された消費税の増額相当分を見込み、前年度比 50,000千円、7.5%の増額としました。

地方特例交付金は、41,300千円で、前年度比 57.2%の減となりました。これは、幼児教育・保育の無償化の財源として措置された臨時交付金の皆減によるものであります。

地方交付税は、1,248,000千円で、前年度比 21.5%の増となりました。これは、会計年度任用職員の期末手当相当分の財源や、地方特例交付金に代わる財源として幼児教育・保育無償化に係る経費分を見込んだものであります。

国庫支出金は、1,176,799千円で、前年度比 1.9%の増となりました。これは、事業完了に伴う学校施設環境改善交付金や参議院議員選挙委託金が皆減したものの、民生費の増加に伴う国庫負担金の増加や、台風第19号の災害復旧事業に係る国庫負担金の皆増によるものであります。

県支出金は、846,089千円で、前年度比 4.7%の増となりました。これは、ふじのくに少子化突破戦略応援事業費補助金や光ファイバー網整備事業費補助金が皆減したものの、企業誘致の促進を目的とした地域産業立地事業費補助金や、台風第19号による災害救助費繰替支弁金の皆増によるものであります。

町債は、587,700千円で、前年度比 13.9%の減となりました。これは、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債は増額したものの、函南中学校の大規模改修工事完了に伴う学校教育施設等整備事業債の皆減によるものであります。

これらに、地方譲与税や各種交付金等を加えた依存財源の総額は 4,939,189千円で、前年度比 227,285千円、4.8%の増となり、歳入に占める依存財源の割合は、2.1ポイント増の 44.0%となりました。

歳 出

議会費は、116,090千円で、2.8%の減となりました。これは、議員改選に伴い計上した被服費と、本会議場の音響・映像設備の改修工事費の皆減によるものであります。主な歳出として、議員報酬と職員給与等議会の運営及び活動費等を計上いたしました。

総務費は、1,254,163千円で、4.0%の増となりました。これは、自治体クラウド導入に伴うシステムデータ移行業務委託や、公共施設個別計画策定業務に係る費用の皆増によるものであります。主な歳出として、職員人件費、庁舎維持経費に係る財産管理事業費、公園管理費、文書広報事務経費、電子計算事務の執行経費等を計上いたしました。

民生費は、4,148,267千円で、3.3%の増となりました。これは、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の増額に加え、台風第19号による災害救助法応急修理委託料の皆増によるものであります。主な歳出として、児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉事業に係る経費、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金に係る経費等を計上いたしました。

衛生費は、1,014,684千円で、2.8%の増となりました。これは、蛍光灯・乾電池等の拠点回収をごみステーション回収に切り替えるための収集業務委託料の増額や、温泉会館の施設管理や設備点検保守管理委託に係る費用の皆増によるものであります。主な歳出として、町民の健康保持と増進を図る検診事業に伴う経費、可燃ごみの安定的な処理や不燃ごみの適正処理費用、合併処理浄化槽の普及に係る経費等を計上いたしました。

労働費は、12,568千円で、1.7%の増となりました。主な歳出として、シルバー人材センターへの運営費補助金等を計上いたしました。

農林水産業費は、253,615千円で、7.4%の増となりました。これは、農免農道の整備に係る建設負担金や排水機場の電気設備保守点検業務委託料の増額によるものであります。主な歳出として、農業委員会事務事業、畜産振興事業、町営土地改良事業等に係る経費、農業集落排水事業特別会計への繰出金等を計上いたしました。

商工費は、273,074千円で、28.0%の増となりました。これは、企業誘致の促進を目的とした企業立地設備投資奨励金や、土地取得特別会計からの道の駅の土地の買戻しに要する土地購入費の皆増によるものです。主な歳出として、川の駅・道の駅の管理運営費、観光振興を図る経費、企業立地設備投資奨励金、消費生活相談員の報酬、商工会事業や町観光協会への補助金等、商工振興に係る費用等を計上いたしました。

土木費は、926,938千円で、11.6%の減となりました。これは、下水道事業特別会計への繰出金や町道設計監理委託料、工事請負費の減額によるものであります。主な歳出として、国庫補助道路改良事業や河川改修事業、都市計画事業に係る費用等を計上いたしました。

消防費は、659,852千円で、1.2%の増となりました。これは、駿東伊豆消防組合負担金の増額に加え、ハザードマップ作成業務委託料及び気象防災アドバイザー業務委託料の皆増によるものであります。主な歳出として、駿東伊豆消防組合負担金、消防団の活動費用、町内各自治会の消防防災資機材の整備に係る防災対策費用等を計上いたしました。

教育費は、1,473,797千円で、15.0%の減となりました。これは、西小学校トイレ改修による工事費や、外国人語学指導助手業務委託料が増額しているものの、函南中学校の大規模改修工事完了に伴う事業費の皆減によるものであります。主な歳出として、小学校、中学校の施設維持修繕のための工事費をはじめ、外国語指導助手、指導主事、相談員、指導員の人件費のほか、教育支援センター運営費用、給食調理業務委託費、各幼稚園の運営等の学校教育に係る費用、文化センターや図書館、運動公園等の各施設の管理運営、スポーツ振興に係る費用、生涯学習の推進等の社会教育に係る費用等を計上いたしました。

災害復旧費は、56,003千円で、概ね皆増となりました。これは、令和元年台風第19号の災害復旧に係る工事費の皆増によるものであります。主な歳出として、災害査定を受けた6箇所の町道復旧工事費を計上しました。

公債費は、1,008,948千円で、1.3%の増となりました。償還金は、元金分として946,216千円、利子分として62,731千円、一時借入金の科目設定として1千円を計上いたしました。

そのほか、予備費20,000千円を計上しました。

これらの結果、経常的経費の総額は、9,116,449千円で、前年度比288,491千円、3.3%の増となり、歳出に占める経常的経費の割合は、2.8ポイント増の81.3%となりました。

一方、投資的経費の総額は、869,461千円で、前年度比387,507千円、30.8%の減となり、歳出に占める投資的経費の割合は、3.5ポイント減の7.7%となりました。

土地取得特別会計予算

令和２年度函南町の土地取得特別会計予算は、歳入歳出予算の総額で 20,020千円であり、前年度と比べ 1,400千円の減額であります。これは、道の駅の事業用地を一般会計で買い戻すことにより、土地開発基金への繰出金が皆増するものであります。

歳入は、不動産売払収入 20,020千円で、歳出は、土地開発基金繰出金 20,020千円であります。

国民健康保険特別会計予算

令和２年度函南町の国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 4,326,028千円で、前年度と比べ 171,621千円の増額であります。

歳入は、国民健康保険税が 880,596千円、県支出金 3,059,211千円等であります。

歳出は、保険給付費が 3,002,297千円、国民健康保険事業費納付金 1,230,125千円等であります。保険給付費は、県が示す試算値と過去の給付状況を踏まえ、必要額を計上したものであります。

後期高齢者医療特別会計

令和２年度函南町の後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 492,005千円で、前年度と比べ 40,182千円の増額であります。

本特別会計は、町が徴収する後期高齢者医療保険料を会計するものであり、歳入は、保険料 410,983千円と保険基盤安定繰入金 79,701千円等で、歳出は、広域連合への納付金 491,685千円と保険料過年度償還金等 320千円であります。

介護保険特別会計予算

令和2年度函南町の介護保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 3,069,227千円で、前年度と比べ 175,389千円の増額であります。

歳入は、介護保険料 736,263千円、国、県支出金 1,049,625千円、支払基金交付金 799,910千円等であります。

歳出は、職員人件費や介護認定等の総務費が 58,974千円、各種介護保険サービスの事業費である介護給付費と予防給付費が 2,917,053千円、介護予防や包括的支援等の地域支援事業費が 92,504千円等であります。

下水道事業特別会計予算

令和2年度函南町下水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益904,125千円のうち、営業収益は676,605千円で、このうち主なものとして下水道使用料の収入が301,620千円、他会計負担金として、一般会計繰入金の366,463千円を計上しております。

支出は事業費用900,349千円のうち、営業費用が834,871千円で、管渠維持管理費、流域下水道管理事業負担金、減価償却費等であります。また、営業外費用65,128千円は企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入は364,420千円であり、企業債、国庫補助金、受益者負担金及び分担金による収入であります。支出は644,393千円のうち建設改良費400,620千円で、主な事業は、未普及対策における管渠埋設工事等の工事費であります。また、企業債の元金償還金が243,773千円であります。

農業集落排水事業特別会計

令和2年度函南町の農業集落排水事業特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 10,470千円で、前年度と比べ 772千円の減額であります。

歳入は、使用料及び手数料 1,229千円、繰入金 6,665千円、国庫支出金 2,450千円等であります。

歳出は、事業費 6,339千円、公債費 4,120千円等であります。

上水道事業特別会計予算

令和2年度函南町上水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益623,016千円のうち、営業収益は543,086千円で、このうち水道料金収入は523,554千円を計上しております。

支出は事業費用540,790千円のうち、営業費用は530,602千円で、維持管理費、減価償却費等であります。また、営業外費用8,886千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入が101,300千円であり、そのうちの主なものは企業債の

100,000千円であります。支出は424,549千円のうち建設改良費が382,464千円で、主な事業は、第1浄水場更新工事、老朽管の布設替え、施設における設備更新の工事費であります。また、企業債の元金償還金が 42,085千円であります。

畑、丹那簡易水道特別会計予算

令和2年度函南町畑、丹那簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益9,911千円のうち、営業収益が5,672千円で、このうち水道料金収入は5,661千円を計上しております。

支出は事業費用10,437千円のうち、営業費用が10,309千円で、維持管理費、営農飲雑用水整備事業負担金、減価償却費等であります。また、営業外費用の115千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的支出については、189千円であり、主なものは、企業債の元金償還金176千円であります。

田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算

令和2年度函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益38,043千円のうち、営業収益が10,576千円で、このうち水道料金収入は9,245千円を計上しております。

支出は事業費用40,700千円のうち、営業費用が40,629千円で、維持管理費、減価償却費等であります。また、営業外費用18千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入が3,000千円であり、基金の取崩による収入であります。支出は1,705千円のうち建設改良費が1,353千円で、主な事業は、施設更新工事の工事費であります。また、企業債の元金償還金が352千円であります。

東部簡易水道特別会計予算

令和２年度函南町東部簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益181,742千円のうち、営業収益が121,014千円で、このうち水道料金収入は120,963千円を計上しております。

支出は事業費用178,168千円のうち、営業費用が177,591千円で、維持管理費、駿豆水道受水費、減価償却費等であります。また、営業外費用524千円の主なもの企業債の支払利息であります。

資本的支出については、19,744千円であり、主な事業は第２ポンプ場送水ポンプ更新工事、給水管の布設替工事等の工事費であります。また、企業債の元金償還金が343千円であります。

平井財産区特別会計予算

令和２年度函南町の平井財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 118万 8千円で、前年度と比べ 2万 5千円の減額であります。

歳入は、基金利子 8万 1千円と基金からの繰入金 110万 7千円で、歳出は、基金利子の元加積立 8万 1千円と管理会経費 10万 7千円、一般会計への繰出金 100万円であります。

上沢財産区特別会計予算

令和２年度函南町の上沢財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 1千円で、前年度と同額であります。

歳入は、基金利子 1千円で、歳出は、基金利子の元加積立 1千円であります。